

2006年1月24日

東証ディスクロージャー表彰会社に選定されました



東証の西室社長兼会長(左)と当社の社長永守(右)

当社は東京証券取引所による平成17年度上場会社表彰において、「ディスクロージャー表彰会社」に選定されました。

東京証券取引所は、ディスクロージャーや個人株主（投資者）層の拡大に優れた実績を上げたと認められる上場会社を毎年1回、上場会社表彰として、表彰しています。このうち、ディスクロージャー表彰とは、上場会社のディスクロージャーの充実を促進する観点から、企業内容等を適時・適切に、投資者に分かりやすい形で開示しているなど、ディスクロージャーに積極的に取り組んでいると認められる会社を表彰するものです。

東京証券取引所は当社の選定にあたり、以下の点を評価したと発表しています。

評価されたポイント（東証コメント引用）

- ・決算短信は、(1)目標と(2)そのための具体的施策、(3)現状の認識を順序よく説明し、読み手を意識した非常にわかりやすいものとなっている。
- ・事業報告書では、四半期別の業績推移を記載。セグメント別業績もグラフを用いてわかりやすく表示するとどまらず、セグメント別の売上高・営業利益の双方の解説がなされている。財務戦略や配当政策についてわかりやすく説明されており、IR活動に注力する同社の意気込みが感じられる。

また、今回の表彰にあたって当社代表取締役社長(最高経営責任者)永守 重信は以下のようにコメントしております。

この度は大変栄誉ある賞にご選定頂き、誠に光栄に存じます。IRは経営者の最重要任務であるとの認識の基、個人投資家向けに、また内外の機関投資家に対しても、積極的なトップIRを実施すると共に、常に市場の声に耳を傾け、経営に反映させるべく努めて参りました。今後とも当社の企業価値を適切にご評価頂くため、解りやすく充実した内容のフェアディスクロージャーに努めると共に、それを可能とする内部統制の確立に努めてまいります。



1月20日に開催された授賞式では、本年度ディスクロージャー表彰会社7社を代表し、式に出席されていた平成17年新規上場会社代表者の皆さまへ当社のディスクロージャーに関する考え方等についてお話をさせて頂きました。

以上